

## 平成28年度 神奈川県立菅高等学校 不祥事ゼロプログラム

### ① 公務外非行の防止(法令遵守意識の向上)

取組	社会人としてのモラル、公務員としての倫理意識を持つ。	
目標	公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守意識の徹底を図る	
行動計画		検証結果
	全職員を対象にした校長面談で注意喚起を行うとともに、未然防止に向け風通しの良い職場づくりをさらに進める。	夏季休業等を利用し全職員に対する校長面談を行うとともに、機会に応じた管理職との面談や情報交換を実施した。また外部講師によるストレスマネジメントに係る研修を実施した。

### ② わいせつ・セクハラ行為の防止

取組	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	
目標	日々の言動に留意し、あらゆるわいせつ・セクハラ行為を許さない、見逃さない学校環境を整備する。	
行動計画		検証結果
	全職員を対象に、わいせつ・セクハラ行為防止に関わる研修会を開催し、未然防止を図る。	職員会議等の機会を利用し管理職による事例報告・注意喚起を行った。

### ③ 体罰、不適切指導の防止

取組	部活動等における体罰・不適切指導等の発生を未然に防止する。	
目標	体罰・不適切指導等の発生を防止する。	
行動計画		検証結果
	体罰・不適切な指導に係る具体的事例を取り上げ、職場全体として体罰を容認しない意識づくりを進めるとともに、生徒が安心して気軽に相談できる校内体制の効果的運用に努める。	校内事例を踏まえ校長より職員会議において再発防止と注意喚起を行った。また、外部講師による生徒対応に係る研修を実施した。

### ④ 会計事務等の適正執行

取組	適正な私費取扱事務を実施する。	
目標	会計マニュアルによる適切な私費徴収・執行事務を徹底する。	
行動計画		検証結果
	徴収・執行等具体的業務の手順を徹底し、必ず複数の目を通した処理を怠らないとともに、ネットバンキングの利用促進等により業務効率化を図る。	年度当初の会計業務に係る全体研修を実施するとともに、定期的な帳簿チェックや伝票処理の過程で担当者間での相互チェックや助言指導を行った。

⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

取組	携帯電話等も含めた個人情報の適正な管理を徹底する。	
目標	文書等の適正な管理を徹底し、個人情報の不適切な取扱いや流失等の未然防止を徹底する。	
	行動計画	検証結果
	職員室・事務室内の整理整頓に自覚をもって取組み、個人情報を含む文書等の適切な管理に努めるとともに、所定の手続きを怠らず、慎重な管理を行うことを徹底する。	職員室内の整理整頓に職員同士が意識して取組むとともに、個人情報持出等の手続きについては徹底が図られた。

⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

取組	交通法規の遵守を通して、教職員の関わる交通事故を未然に防止する。	
目標	交通法規の遵守の徹底を図る。	
	行動計画	検証結果
	事例の紹介・啓発ポスターの掲示などによる法令遵守の啓発はもとより、職員相互の声掛け等により意識を高める。	職員会議等の機会を利用し管理職による事例報告・注意喚起を行った。

⑦業務執行体制の確保（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

取組	業務進捗状況・生徒情報等の共有化により、業務協力体制の円滑化を図り、相互チェック体制を徹底する。	
目標	不祥事防止研修等を通して、職員の意識向上とモラルの維持を図り、組織として事故・不祥事の未然防止にあたる。	
	行動計画	検証結果
	業務遂行にあたり職員相互が連携し迅速かつ効率的に対応を行うとともに、一人ひとりが自覚と責任をもって業務に取り組む。	毎朝の打合せ資料（教務日誌）に「今日の Check & Care」欄を設け、職員の自覚を促す取組を継続的に行った。

⑧調査書・進路関係書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止

取組	進路及び成績処理業務についてスケジュール管理を徹底し余裕をもって取組む。	
目標	各種マニュアルを遵守し適切かつ効率的な点検を行い、事故の未然防止に職員一人ひとりが自覚をもって取組む。	
	行動計画	検証結果
	常に生徒の立場に立ち細心の注意を払い業務にあたるとともに、生徒・保護者に対する説明責任をしっかりと自覚し業務に取り組む。	各担当グループが中心となり、スケジュールリングを明確にするとともに、マニュアルを整備し職員相互が確認を行う体制を徹底した。

⑨入学者選抜業務《所属独自課題》

取組	入学者選抜業務を適正に実施する。	
目標	入学者選抜業務における事故を未然に防止する。	
行動計画		検証結果
入選委員会を中心に、事前の綿密なシミュレーションを徹底して行いリスクの軽減を図るとともに、今年度改善された点について周知徹底を図り、職員一人ひとりが情報を共有しながら責任を持って業務に取り組む。		昨年度の事故事例を分析しマニュアル見直しや人員配置等の改善を行うとともに、マークシート方式導入に伴い、入選委員会が中心となり綿密な計画を立て、全職員の協力のもと適切に実施することができた。